



---

# 良好な水環境の保全と活用の方向性と対応策

---

令和8年5月26日

# 良好な水環境の保全と活用の推進の方向性

- これまでの取組から得られた**成果・知見**を踏まえると、**今後目指していく良好な水環境の保全と活用の将来像の実現**に向けては、**持続性の確保、質の向上、横展開**が必要ではないか。
- 3つの視点の関係としては、まず、個別の取組について、その**持続性を確保**し、取組そのものの**質の向上**を図るとともに、そのような個々の取組を全国へ**拡大（横展開）**していくといった関係。



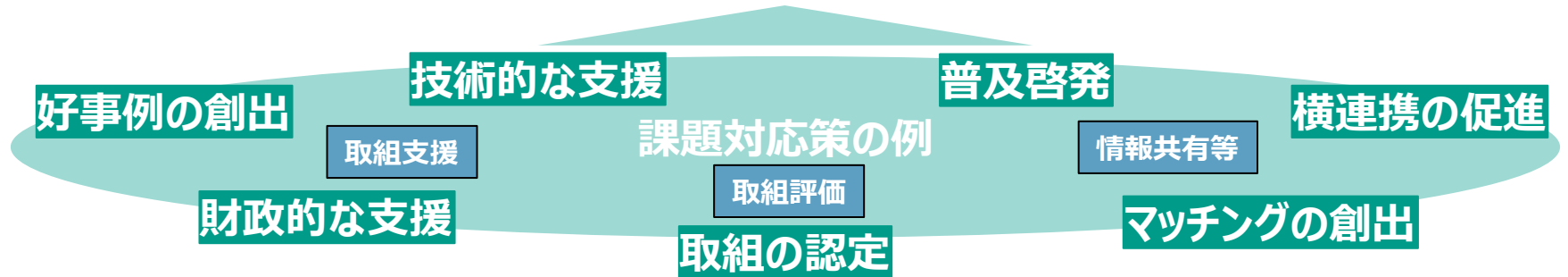
今後目指していく  
良好な水環境の  
保全と活用の将来像

# 良好な水環境の保全と活用の将来像の実現に向けた課題と対応策

- 将来像の実現のための個別取組の持続性の確保、質向上に向けては、様々な課題が指摘されており、その対応が必要。
- 対応策として、地域の取組支援、情報共有等の促進、取組の評価等が挙げられるか。

## 指摘されている課題の概要

- 広域的・中長期的な視点が必要であり、単年度事業では**実行フェーズ**での支援が不足。
- 類似の取組を実施する団体同士の**ネットワーク**づくりや、国が**情報発信**することで、**企業マッチング**等へ。
- **行政による取組のビジョン・支援の枠組み**が明確であれば、民間などの参画も可能。
- 自治体等の関係者の参画促進や資金確保のためには、**制度的裏付け**が重要。
- 関係者からの理解取得・信頼構築には、**国のお墨付き**が**対外的信用力**として重要。
- 関係する**制度が重層的**で、**管轄組織が多岐**にわたり、行政手続きが障壁。



### 【議論いただきたい点】

- ・ 良好な水環境の保全と活用に向けた方向性について（方向性の是非、足りない点など）
- ・ 横展開に向けての個別取組の推進のための課題対応策について（例示策の是非、足りない点など）